

《しずおか虹と風の学校 5 周年記念 映画上映会》

だれもが性被害で苦しめない社会をめざして！

映画「私は絶対許さない」上映会

シネマトーク「性暴力を演じる女優の決意」



2026（令和8）年

3月7日（土）

11:00～15:00（受付開始 10:30）

静岡県男女共同参画センター

「あざれあ」5階 第3会議室

<第1部>映画上映会 11:00～13:30

映画「私は絶対許さない」

監督 和田秀樹、主演 西川可奈子、平塚千瑛

<第2部>シネマトーク 14:00～15:00

「性暴力を演じる女優の決意」

主演女優 西川可奈子さんをお招きして

聞き手：小谷しずく 解説：國分聡子

15歳で集団レイプされた少女が風俗嬢になり、さらに看護師になった理由

申し込み

事前申し込みが必要「こくちーズ」定員 70 名《参加費 1100 円》

<https://www.kokuchpro.com/event/db28975450227ef8f89455fe08a05d52/>

※ R18 指定映画のため、18 歳未満の方はご参加できません。過激な性暴力シーンがあります。

主催：しずおか虹と風の学校

協賛：性別によらず安全安心に自分らしく生きられる居心地のよい社会を実現しようと賛同する皆様



<開催にあたって>

私たちはだれもが自分らしく、安全に社会に暮らしたいと願っている。しかし、ある瞬間にそんな平穏な日常が失われてしまう。DV や性暴力は身近に起き、なかったことにされることで性被害者を苦しめ続ける。性別によらず、すべての人に性暴力の残忍さ、卑劣さを知ってもらいたい。そして、もしも性被害者から相談されたら「あなたは悪くないよ」と伝えてほしい。そんな第一歩をこの映画と出演者のメッセージから考えてみたい。

<主催団体：「しずおか虹と風の学校」について>

学校や教育における性の多様性や性的指向、性自認、性のあり方について積極的に話し合い、相談し合える交流の場となるよう 2020 年に発足しました。児童生徒の性的マイノリティ当事者にとって居心地のよい学校、教職員にとっても性別にとらわれず働きやすい職場であるために、多様性や個性を尊重する機運を高めてまいります。皆様のご参加とご支援を歓迎いたします。（代表：小谷しずく）

<映画作品の紹介>

2018 年「私は絶対許さない」製作委員会

原作は雪村葉子（2018）：『私は絶対許さない』ブックマン社

15 歳で集団レイプの被害に遭った雪村葉子の手記を映画化。東北の田舎に育った葉子は、中学 3 年生の時、若い男たちにレイプされる。家族からも突き放され、学校ではイジメに遭うようになった葉子は、援助交際でお金を貯め、高校卒業後、東京に出るが……。

出演は少女期の葉子を西川可奈子、整形後を平塚千瑛によるW主演で演じる。

監督は精神科医でもある和田秀樹が完全主観撮影で PTSD やトラウマの先にある人間性や価値観の変容に迫る。

ノイダ国際映画祭 審査員特別賞、二ス国際映画祭 最優秀オリジナル脚本賞など。なお、静岡県内での上映は今回が初めて。



<登壇者の紹介>

西川 可奈子（にしかわ かなこ）

大阪府堺市出身。俳優。

映画・テレビドラマ・舞台を中心に活動し、社会性のあるテーマを扱う作品にも多数出演。

主な出演作 映画：『私は絶対許さない』、『アンダーユアベッド』など

テレビドラマ：NHK 大河ドラマ『西郷どん』、『ただ離婚してないだけ』などで活躍



監修・解説 國分 聡子（こくぶん さとこ）

カレッジまどか学長、性教育の実践と啓発に努める。前任は特別支援学校教諭。また、児童相談所にて虐待、非行、不登校対応にも当たってきた。

『学校でできる！性の問題行動へのケア（共著）』（東洋館出版）、『性の教育ユニバーサルデザイン（共著）』金剛出版

<会場案内>

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

5 階第 3 会議室

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1

※JR 静岡駅北口より徒歩 10 分

参加定員：70 人

※参加費 1100 円

※ R18 指定映画のため、18 歳未満の方はご参加できません。

【注意】体調の優れない方のご参加はご遠慮ください。

《申込み》<https://www.kokuchpro.com/event/db28975450227ef8f89455fe08a05d52/>

《連絡先》しずおか虹と風の学校（担当：小谷 E メール：shizuoka_nijikaze@hotmail.com）

